

主要事務事業戦略シート

平成29年度
総合政策局
総合政策局長 穴倉輝雄

局・区の使命	人口減少・少子超高齢化の到来に対し、新基本計画に掲げる3つの「まちの個性」の実現、更に持続可能な都市経営などに取り組みます。
事業選択・重点化・見直しの考え方	都市、地域社会を取り巻く環境の複雑、多様化に伴い、よりきめ細やかで、推進力のある自治体経営の必要性が増すなか、執行部門の「選択と集中」による事業展開を的確に支援等することが適よう、経営資源の集約等による企画経営部門の機能強化は必須であり、必要な組織体制の整備を行っていく必要がある。

施策			9-9-9		その他								
No.	新規	事務事業(業務)名	事務事業(業務)概要		現状分析			課題抽出		今後の方向性		所管課	
			目標(目的) 【(事務事業(業務)を行い誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】	主な内容 【サービス等の提供内容や提供先】	事務事業(業務)に必要な行政資源		コスト換算 (単位:百万円)	行政コストの合計額 (単位:百万円)	主な実績・効果 【利用者数・件数等】	分析・評価 【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】	改善・改革の手法		今後の方向性
1		庁議・政策会議・局部長会議	市政運営の基本方針や重要施策の決定を行うとともに、部門間の総合調整を行うことにより、的確かつ効率的に都市経営を推進する。	年間スケジュールに基づき、庁議・政策会議を開催し、適切かつ円滑な意思決定を支援する。	ヒト	職員4人	7	7	《平成28年度》 庁議： 開催7回、事案7方針決定5、報告2	都市経営に関わる方針決定を一元的に管理する会議として機能しつつも、財務等を含めた諸資源との連動により、諸計画の推進状況の管理、モニタリングを含め、経営部門として、戦略的、より効果的、かつ効率的な会議運営を志向していく必要がある。	③ 整理統合	方針決定を一体的に行うとの観点から、各会議を統合し、庁内の方針・意思決定会議を統一することを検討あわせて運営方法などについても見直しを検討	政策企画課
				《提供先》 庁議:市長、副市長ほか構成員 政策会議:市長、副市長、総務・総合政策・財政局長、及び事案付議部門局部長等 局部長会議:市長、副市長及び局部長					＜参考＞ 前年度決算額				
			他都市等の状況		モノ				このほか、庁議・政策会議の事前調整のため、総務・総合政策・財政の局部長による調整会議を15回開催				
名称・形態は様々であるものの、市政運営方針、重要施策を決定する庁内会議は、いずれの都市においても設置。		カネ											